

## 子どもたちの夢・生き方につながるように

教員生活が始まってすぐの頃は不安を感じることが多くありました。しかし、子どもたちの笑顔やがんばる姿を見ると、教員をしてよかったと心から思います。教員は、子どもたちの成長にかかわるだけでなく、自分自身も成長することができる仕事です。子どもたちの夢や生き方につながるよう毎日を過ごしませんか。



小学校 教諭



## 「ともに成長」できる日々

働く中で、好きなことに一生懸命取り組む姿や、苦手なことにくじけそうになりながらも取り組む姿を見て、子どもたちの成長を感じています。成長する子どもたちをサポートする中で自分自身の成長も実感しています。教員は子どもたちと「ともに成長」できる魅力的な仕事です。ぜひ、一緒に働きましょう。



中学校 教諭



## 食を通して子どもの成長を支える

栄養教諭は学校に複数人いるわけではないので、最初は不安な事が多かった。一方で、自分がしたいことをできることが強みだと思い、様々なことに挑戦してきました。大変なことも多いですが、栄養教諭という仕事を楽しいと感じています。食という他の教職員とは違う面から子どもにアプローチできる、やりがいのある仕事です！



小学校 栄養教諭



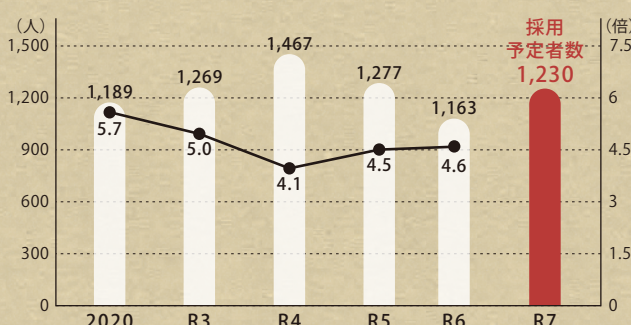
Check!!

インタビューの詳しい内容はこちらのサイトでチェック!



令和6年度 校種等別志願者数・受験者数・合格者数				
校種等	志願者数(人)	受験者数(人)	最終合格者数(人)	倍率(倍)
小学校	1,462	1,298	432	3.0
小中いきいき連携	98	89	30	3.0
中学校	1,662	1,514	265	5.7
高等学校	1,686	1,453	221	6.6
支援学校 [幼稚園・小・中・高]	267	244	91	2.7
支援学校 [中学部]	171	148	30	4.9
支援学校 [高等部]	109	101	31	3.3
支援学校 [自立活動]	2	2	1	2.0
支援学校 [理学療法]	2	2	1	2.0
養護教諭	432	394	48	8.2
栄養教諭	106	89	13	6.8
合計	5,997	5,334	1,163	4.6

### 合格者数(全校種合計)と最終倍率の推移



## 生徒とともに成長できる日々

初めは授業を成り立たせることに精一杯で、自分の説明で生徒は理解できているのかといった不安を感じることが多くありました。授業を繰り返す中で、徐々に生徒一人ひとりと信頼関係を築くことができるようになり、一方的ではなく、対話的な授業ができるようになりました。生徒とともに自分自身も成長できる毎日です。



府立高等学校 教諭



## 生徒に寄り添いともに成長

授業づくりや生徒対応などで悩むことも多くありますが、生徒が「分かった!」「もっとやってみよう!」と笑顔で伝えてくれる瞬間がなにより嬉しく、自分の支えになっています。一人ひとりに寄り添い、生徒と一緒に自分自身も成長できるのが、教員という仕事の魅力だと思います。



府立支援学校 教諭



## みんなの心と体の支えになりたい

保健室には、毎日たくさんの子供が来室します。保健室に来た時ホッとできる、何かあったときに保健室の先生がいたら大丈夫と思ってもらえるような心掛けて保健室を運営しています。怒って泣いたり、安心して笑ったりと様々な表情を見せ、成長する子どもたちから、私自身元気のパワーをもらっています。



小学校 養護教諭



## 大阪府教員キャリアステージ

### キャリアステージに応じた資質・能力の向上

「OSAKA教職スタンダード」は共通に求められる資質・能力を、教員等の経験や適性・職責に応じ、5段階のキャリアステージに分けて整理。ステージに応じた研修体系を設けることにより、学び続ける教員を支援しています。



Check!!

大阪府教育委員会が求める人物像



#### 第0期 採用時 >>

大阪府が採用時に求める教員としての資質・能力。求められる教員像。

#### 第1期 初任期 >>

教員として基礎的な力や実践力を身に付けている。

#### 第2期 ミドルリーダー 発展期 >>

知識や経験に基づき専門性を高め、積極的に実践を積み重ねる。教員としての自立期。

#### 第3期 ミドルリーダー 深化期 >>

分掌や学年など校内組織のミドルリーダーとして専門性や自らの実践をもとに組織を活性化する。

#### 第4期 キャリアの成熟期 >>

分掌や学年など校内組織の長を担うなど学校運営上の重要な役割を担う。

### 生徒とともに成長していく

どうすれば生徒の学びを深めることができるのかを考え、悩みながら授業や担任業務をしています。生徒と関わる中で、生徒の成長を感じる瞬間はとて嬉しく、もっと頑張ろうという気持ちになります。これからも生徒の可能性を広げることができるよう私自身も学び、成長していきたいです。



府立高等学校 教諭

### ミドルリーダーとしての役割

小学校教諭として多くの児童と出会い、日々の指導を行う中で、学級だけでなく、学校行事の運営に興味を持ちました。現在は首席として、今までの経験を活かすことができ、やりがいを感じながら、幅広く横断的な助言をして行事を支えています。また、管理職と教職員のハイブリッドとして、コミュニケーションを大切にしています。



小学校 首席

### これからの学校現場はおもしろい

小学部教諭を経て地域支援コーディネーターと首席を兼務し、課題解決に奮闘していた時、学校全体を俯瞰して勤務する教頭職に推薦されチャレンジし、今に至ります。コロナ禍は全教職員で「教育、学校とは」を問い直し試行錯誤を重ねました。コロナ禍を乗り越えた今こそ、新たな学校教育のスタートだと思っています。



府立支援学校 教頭

### 創造する、つなげる、そして組織力

教職員一人ひとりが『もちあじ』を生かして子どもたちと向き合い、常に自分の資質と能力を高めることをめざす中で、お互いに認め、高めあう学校・教職員集団になっていく。そんな教職員のチームワークが未来に輝く子どもたちの笑顔を創る。子どもたちに一番近い場所でもとも未来を創っていきましょう!



小学校 校長